

～伴走支援力、事業性評価力向上研修～

令和5年度 地域金融機関職員研修

研修のねらい

本研修は、中小企業の金融円滑化の一環として近畿経済産業局並びに中小企業基盤整備機構が連携して実施するもので、地域金融機関職員の事業性評価力の向上等により中小企業等の支援力を強化することを通じて地域経済の活性化を目指すものです。

※研修開始前に事前課題があります。
(書籍を読んだ上での事前アンケートへの回答)

研修のポイント

- ✓ 講師や受講者との意見交換等により、知識、スキルの習得と業務への応用力、適用力の向上を目指します
- ✓ 国の小規模事業者対策と実際の支援策のあり方や重要ポイントについてわかりやすく学べます
- ✓ 地域金融機関職員同士で意見交換や業務遂行に役立つネットワークづくりができます

研修期間

2024年
1/11 木 ~ **12** 金

対象者

近畿圏の中小企業・小規模事業者支援に携わる地域金融機関の役職員

定員 **20名**

受講料 **22,000円(税込)**

会場

大阪国際ビルディング 27階

(セミナールーム)

〒541-0052

大阪市中央区安土町2-3-13

講師紹介(敬称略)

(1/11)
一般社団法人 日本金融人材育成協会
会長

森 俊彦 (もりとしひこ)

(1/12)
株式会社地域金融ソリューションセンター
代表取締役

竹内 心作 (たけうちしんさく)

研修申込

こちらのQRコードよりお申し込みください(中小機構HP)



月日	時間	科目	内容
1/11 木	9:50-9:55	事務連絡	研修のねらい、学習ポイントについて
	9:55-10:00	共催代表のご挨拶	近畿経済産業局産業部 中小企業課長 麻野 浩樹
1/12 金	10:00-12:30	中小企業と地域金融機関の「共通価値の創造」に向けて ～ポストコロナ時代の新たな伴走支援と具体策について～ 【国の施策】	最新の中小企業行政と金融行政のポイントを整理し、「金融機関の持続可能な収益性や将来にわたる健全性を具体的にどのように構築していくのか」の観点から、次のような点を取り上げ、明日からの実践での活用を目指します。 (1) 金融機関の「使命」と「支援機関との連携」 ・「伴走支援型融資」の具体的な内容と実務 ・検査マニュアル廃止後の「融資に関する検査・監督、引当の考え方と進め方」の具体的なポイント (2) 政府の ・「課題設定型伴走支援」 ・「スタートアップ支援(知財・無形資産の活用)」 ・「中小企業・小規模事業者のデジタル化/DX支援(みらデジ)」の実践を念頭に置いた具体的なポイント
	13:30-17:30	中小企業と地域金融機関の「共通価値の創造」に向けて ～ポストコロナ時代の新たな伴走支援と具体策について～ 【実践事例、質疑・意見交換】	「伴走支援型融資」による創業・事業再生・事業承継・成長支援やメイン化について、実例を交えながら分かりやすく説明します。 (1) 過大債務企業やスタートアップへの経営支援の実例 ・経営デザインシートやローカルベンチマークの活用と「伴走支援型融資」の実践 ・「みらデジ」を活用したデジタル化/DX支援の実践 (2) 中小企業経営者の生の声(金融機関への思い)等 講師や受講者とのディスカッションにより、知識、スキルの習得と業務への応用力、適用力の向上を目指します。
1/12 金	9:30-12:30	地域金融機関に期待される役割 ～事業性評価の実践～	新型コロナウイルス感染症の前後において地域金融機関が取り組むべきことにどのような変化があったのか「本業支援」をテーマに解説するとともに、事業性評価を行うにあたっての分析手法をマクロ的な観点や対話によるミクロ的な観点から学びます。 ・事業性評価とソリューション提案の位置づけ ・躍動的な事業性評価のポイント ・SWOT分析からクロスSWOT分析へ
	13:30-16:30	ソリューション営業の実践と補助金・助成金の提案手法 ～各業種への対応事例と地域金融機関の工夫事例～	事業性評価により抽出した個々の経営課題に地域金融機関としていかなるソリューションを提供できるのか、事例を用いて学びます。本部に頼らずとも、営業店もしくは担当者の工夫だけでも提供できるよう、外部機関の活用やその他具体的な動き方について解説します。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※中小企業診断士更新研修(理論政策1回)